



さくらんぼだよ

3月号

平成31年3月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

巣立ち行くこどもたちへ

～そして支えて下さった皆さんへ心よりありがとうございます～

今年の冬は暖冬といわれ、雪遊びができるほどの雪もなく、子どもたちの冬ならではの遊びも計画倒れになってしまいそうなところ、保育士は“雪がなければ氷だ”とばかりに子どもたちと小川に張った薄氷をそ〜とすくいあげ、顔にくっつけては氷を通して見える景色を楽しんだり、また、大きいクラスでは様々な空き容器を使って氷づくりを体験させるなど、冬の自然に対する興味関心を広げています。また、こうした冬の遊びを楽しむ傍ら、時折さす温かな春の日差しに誘われ園庭を元気に走り回る子ども達は、昨秋おじいちゃん、おばあちゃんたちと植えた、ヒヤシンスやチューリップの球根から小さな芽が出ていることに気づき、また、風の冷たさがあるものの、春の訪れを感じているようです。

3月23日(土)スイミー組20名の子ども達が、元気に西多賀チェリー保育園を巣立ちとしていきます。振り返ってみますと、年度当初は自分の思いを素直に話せず、ただ黙って拗ねてしまったり、かと思えば、自分のことだけを主張するだけで折り合いをつけることが難しかったり、個性豊かなクラスでした。それでも、担任保育士をはじめ周りでサポートする職員それぞれが一人一人の育ちを大事にして、子どもの持っている力を引き出してきました。そして、クラスでの様々な取り組みの中で、今では、自分の思いだけではどうにもならないことを知り、悔しい思いをしながらも、我慢することを覚えたり、発達がゆっくりな友だちには、やさしく手を差し伸べ、気持ちをくみ取ってあげたり、励ましてあげたり、とてもやさしい気持ちが育ちあってきました。

また、荒馬や和太鼓に取り組む中で、仲間と力を合わせて一つのことを成し遂げていく心地良さ、そして、張子のお面などの創作活動でも最後まで投げ出すことなく集中して創り上げていく力が育ちました。

地域の方々に、そして、仕事で忙しい日々の中でも、しっかり見守り、愛情をいっぱいかけてこられたおとうさん、おかあさん、そして、お迎えがどんなに遅くても頑張っておとうさん、おかあさんの帰りを待ちつづけた子どもたち、みんなに“ありがとう”の感謝の気持ちを伝えたいと思います。そして、保育園生活を支えてくれたおじいちゃん、おばあちゃんたちにも感謝致したいと思います。ありがとうございました。

2019・3・1

<園長 中館和子>

お知らせ



<卒園式のお知らせ>

月日 3月23日(土) 集合 9:00 開始 9:30
場所 西多賀チェリー保育園 2階ホール

* スイミー組さん、はらぺこあおむし組さんは親子で参加して下さいますよう、よろしくお願い致します。

<一年生になるお祝い会>

月日 3月8日(金) 時間 9:45 ~ 12:00
場所 西多賀チェリー保育園 2階ホール

* スイミー組さんが一年生になるお祝い会をします。地域のおじいちゃん、おばあちゃんをお迎えして、みんなでお祝いをしたいと思います。当日は、バイキング形式での食事となります。好きなものをたくさん食べてください。



<入園・進級式のお知らせ>

月日 4月6日(土) 集合時間 8:45 開始 9:00

* 式終了後、保護者の会総会、クラス懇談会があります。

おねがい



<延長保育利用の方へ>

新年度、延長保育を利用される方は、新たに申し込みが必要になります。利用予定の方は、年度内に申し込みをして下さい。

行事予定

3月		
日	曜日	行事
1	金	ひなまつり会
6	水	発育測定
8	金	一年生になるお祝い会
11	月	避難訓練
12	火	新入園児説明会
19	火	誕生会
23	土	卒園式
26	火	修了式



新年度入園・進級式

平成31年4月6日(土)

午前9:00~

集合時間 8:45

当日は保護者の会総会もあります。

終了予定は11:30です。クラスにより終了時間が異なりますが、ご了承下さい。



これからの時期、暖かくなってくると泥んこ遊びが盛んになってきますが、その泥んこ遊びをするためだけに、わざわざ園バスに乗って公園に行っているということを以前にもお伝えしたことがあったと思いますが、もう一度何故泥んこ遊びなのか、ということをお伝えしたいと思います。

その園の先生が言うには、泥んこの中には土壌菌があって、それは、人間の腸内細菌と同じで、泥んこ遊びをすることで、自然と元気な体にしてもらえるということでした。そして、毎日泥んこ遊びをさせる事で、実際、子ども達が元気になっていっているということでした。その園の保護者の方たちもあまり熱を出さなくなったと口をそろえて言っていました。

ではその土壌菌とは何でしょう？その名の通り、土の菌。その、役割がどうなっているのかわからないのですが、納豆の中にも含まれているということです。驚いたことに、納豆のなかの殆どが納豆菌とこの土壌菌だということです。

以前、免疫学等を専門としている方のお話を伺った時、次のようなことを話されていました。

赤ちゃんはおかあさんの胎内では無菌状態で、生れたばかりのころは腸内細菌も全く無いという事です。しかし、その後は大腸菌が急速に増え、悪玉菌が多くなっていきます。でも、オッパイを飲んでると、ビフィズス菌などの善玉菌が増えていきます。しかし、外界では色々な悪い菌がいるため、それに対抗するための身体を作らなければなりません。それが、いろいろなものを“なめる”という行動をとることで、ちょっと悪い菌を取り入れているという事でした。清潔にすることはとても大事なことです。無菌室のような環境では、腸内環境にとってはあまり良くないのかなと思いました。賛否両論あると思いますが、免疫力を高め、元気な身体を作るためにも土壌菌に触れることの多い外での遊びを子ども達とこれからも楽しんでいきたいと思っています。



母と子の絵本欄



「はなをくんくん」 出版社 福音館
文 ルース・クラウド 絵 マーク・シーモント
訳 木島 怡

雪深い森の中、冬眠から目覚めた動物たちが鼻をクンクンさせながら、次々走り出します。“クンクン”という言葉がなんともかわいらしく、また、白と黒だけで描かれている雪景色の中に、最終の場面では、黄色の花がポツンとさいて、春を見つけた喜びが伝わりほっこりする絵本です。

「かさぶたくん」 出版社 福音館
やぎゅう げんいちろう さく・え



転んですり傷になると、すぐに絆創膏が欲しくなる子どもたちですが、この絵本は、かさぶたがどんな役割をしているのか、子どもたちにわかりやすく、ユーモアたっぷりに描かれています。まさに科学の本といったところですが、ぜひ読んであげてください。

イヤイヤ期をどう乗り越える？

年が明けてから、各クラスでは懇談会が持たれました。一クラスだけ、半数の参加ということで少し残念な思いもありましたが、そうした中でもこの1年間で培われてきた各クラスの保護者の方々の繋がりというものが垣間見られ、うれしく思いました。クラスごとの話題は、みなそれぞれではありましたが、印象に残ったのが子ども達のイヤイヤに対する関りでした。一般的にこのイヤイヤが始まるのは1歳半頃からは言われていますが、どの年齢になっても、子どもとの意見(気持ち)の食い違いがあって、なかなかこれといった解決が見つからないままのような気がしました。懇談会では、日々我が子と向き合う時どのような感じで向き合っているのか、7つのタイプで(①自己中心でせっかち②がみがみ命令③心配性でおせっかい④放任⑤決めつけ⑥すべて「自分が基準」⑦アメとムチ)聞いてみました。どれか1つというのは殆んど見られず皆一様にどれもあてはまるかな？という感じでした。私自身も、この7つのタイプすべて持ち合わせています。それだけ、自己中心性が強いことを感じましたが、自己中が強ければ強いほど子どもたちを自分の都合で振り回してしまうもの、子どもとの対立を生んでしまうのも当然といったところでしょうか。

私たち大人が自分の日々の在り方をちょっと変えるだけで、意外に、子どもとの摩擦は少なくなるかもしれませんね。

わらべうたであそぼう

♪だいこんつけ だいこんつけ♪

だいこんつけ だいこんつけ
うらがえし
だいこんつけ だいこんつけ
おもてがえし

* 膝の上で両手をポンポン軽くたたきながら、「おもて」「うら」の言葉に合わせて裏返し、表返しと手のひらを返す仕草を繰り返して楽しんで下さい。